



# 食中毒原因菌 検出試薬キット シリーズ



Loopamp サルモネラ検出試薬キット



Loopamp 腸管出血性大腸菌検出試薬キット

Loopamp 大腸菌O157検出試薬キット

Loopamp ペロ毒素 (VT) タイピング試薬キット

Loopamp *L.monocytogenes* 検出試薬キット

Loopamp カンピロバクター検出試薬キット



## ●食品中の食中毒原因菌を翌日に検出することができます。

試料の増菌培養後\*、抽出操作を含めて、わずか2時間以内に検出することができます。

\*VTタイピング試薬キットは、被検菌株の培養液あるいは寒天培地上のコロニーを使用します。

## ●食中毒原因菌の遺伝子の特異的かつ迅速に検出します。

ターゲットとなる細菌が保有する遺伝子に対して設計した、特異性の高いプライマーを使用しています。また、増幅効率の高いLAMP法により、反応はいずれの項目も1時間で終了します。

## ●リアルタイム濁度測定装置で増幅から検出を1つのチューブで完了します。

専用の「Loopamp リアルタイム濁度測定装置」を用いて、増幅から検出までを1ステップで行うことができます。

また、電気泳動での検出を必要としないため1つのチューブで完了します。

## 食中毒原因菌 検出試薬キット シリーズ

Food-Born Pathogenic Bacteria Detection Kit Series

### ●本キットシリーズの製品概要

食中毒の防止と適切な対応のためには、如何に早く食中毒原因菌を検出するかがポイントになりますが、検査方法の主流は培養法であり、判定まで4～5日を要しているのが現状です。その為、これまで以上に食品中に混入する食中毒原因菌を迅速かつ簡便に検出する方法が求められておりました。

本キットシリーズは、食品や環境由来検体から、遺伝子増幅法 LAMP 法により標的とする菌の遺伝子を増幅し、菌の存在の有無を高感度、迅速、簡便に判定するためのキットです。

同梱されている抽出試薬で簡便に核酸を抽出し、標的遺伝子を増幅・検出することで、増菌培養の翌日に、わずか2時間以内で標的とする菌の有無を判定できます。

核酸増幅の検出は反応副産物であるピロリン酸マグネシウム（白濁沈殿物質）による濁度の増加を測定することによって行います。

濁度測定には専用の「Loopamp リアルタイム濁度測定装置」を用います。

### ●測定装置

#### Loopamp リアルタイム濁度測定装置

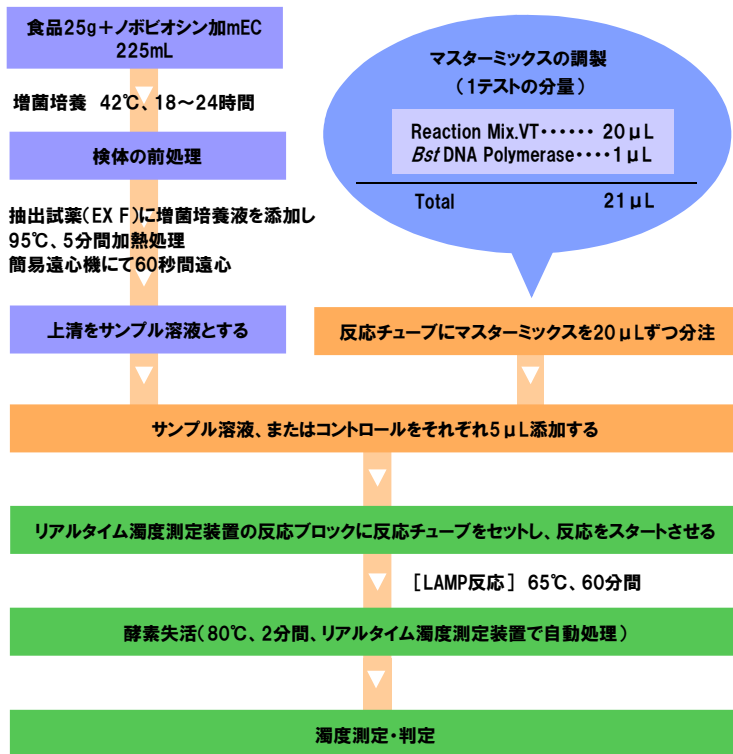
Loopamp EXIA



製造元：テラメックス株式会社  
製造販売元：栄研化学株式会社

※リアルタイム濁度測定装置の詳細については、栄研化学株式会社にお問合せください。

### ●操作手順（例：腸管出血性大腸菌検出試薬キット）



※本キットシリーズの使用上の注意等詳細については、使用説明書をご参照ください。  
 ※Loopamp リアルタイム濁度測定装置に関する内容は Eiken GENOME SITE (<http://loopamp.eiken.co.jp/>) をご覧ください。  
 ※本キットシリーズを使用する際は、必ず専用の「Loopamp 反応チューブ」をご使用ください。

### ●包装・貯法・有効期間・製品コード

製品名	包装	貯法	有効期間	製品コード
Loopamp サルモネラ検出試薬キット	48テスト分	-20℃に保存	1年間	LMP601
Loopamp 腸管出血性大腸菌検出試薬キット	48テスト分	-20℃に保存	1年間	LMP621
Loopamp 大腸菌O157検出試薬キット	48テスト分	-20℃に保存	1年間	LMP631
Loopamp ペロ毒素(VT)タイピング試薬キット	24テスト分	-20℃に保存	1年間	LMP641
Loopamp <i>L.monocytogenes</i> 検出試薬キット	48テスト分	-20℃に保存	1年間	LMP701
Loopamp カンピロバクター検出試薬キット	48テスト分	-20℃に保存	1年間	LMP721
Loopamp 反応チューブ	8×12本セット	室温	3年間	LMP901

※製品はWeb SERVE/e Genome Order (<http://genome.e-mp.jp/>)にてご購入いただけます。  
 注)本キットシリーズは臨床診断の目的では使用できません。